

受託調査、参画プロジェクトなど

1. 受託調査

- ① 「地球と人類の共生についての調査研究」(平成5年3月・(財)電力中央研究所)
- ② 「亜熱帯総合研究所—今後10年の展開構想」(平成9年3月・沖縄県)
- ③ 「高齢社会の自立した暮らしを支えるインフラストラクチャー(事例研究)」
(平成9年3月・電力総連)
- ④ 「地域・電力資源の活用による福祉タウン構想・その1」
(平成11年3月・(財)若狭湾エネルギー研究センター)
- ⑤ 「地域・電力資源の活用による福祉タウン構想・その2」
(平成12年3月・(財)若狭湾エネルギー研究センター)
- ⑥ 「発電所等資源の高度利用による電源地域振興に関する研究」
(平成13年3月・(財)若狭湾エネルギー研究センター)

2. 参画プロジェクト

1. The Asia Rice Forum-Japan (略称：TARF-Japan・アジア稲文化機構)の活動

- ① TARF 準備委員会(事務局：タイ・バンコク)の日本代表として富山和子氏(立正大学教授)を推薦。第7回 TARF 準備委員会(1999.9.19・バンコク)が開催され、日本からは同氏が出席。
- ② 2000年4月に開催されたIRRI40周年記念祝賀会に、TARF-Japan から樽酒一式(日本酒造組合中央会提供)を寄贈、都留信也会長(当時)が出席した。
- ③ 2002年9月16～20日に中国・北京で開催されたInternational Rice Congressにおいて、TARF-Japan として稲藁の民具をAsia Rice Foundationのブースに展示した。
- ④ フォーラム「“野生稲”その生命力と可能性」を開催
日時：2003年8月2日 14:00～17:00
場所：環境パートナーシップオフィス(EPO)
共催：ワイルドライス クラブ
- ⑤ ブータンにおける稲文化調査実施(第1回)
期間：2004年10月16日～22日
- ⑥ 国際コメ年に因んで日本-キューバ科学技術交流協会農業部会と共催でシンポジウムを開催
日時：2004年11月7日(日)
場所：学士会館本館
講師：キューバ農務省稲研究所 ルーベン・アルフォンソ・カラバジョ 所長
テーマ：「稲作と都市農業を中心としたキューバ農業とその発展」
- ⑦ 「第3回国際稲会議」(キューバ・ハバナ/2005.6.6-6.9)においてブータンの稲文化研究およびTARFの実践活動(新潟県の棚田での市民活動)を紹介。
- ⑧ ブータンにおける稲文化調査実施(第2回)
期間：2005年7月26日～30日

3. 出版活動(マクロエンジニアリング叢書)

出版済み叢書

- ① 21世紀の水とコメ（綿稜邦彦、都留信也、秋吉祐子、増子隆子 箸）
- ② 循環型世界への道（木下幹夫、高千穂安長、長山浩章、角田晋也 箸）